宮城教育大学附属小学校



校長先生とPTA会長

新しいコンピュータ教室「クリエイティブ ラボ」

今から2年前の令和6年度、本校に新しい教室が誕生しました。「クリエイティブ ラボ」と名付けたこの教室は、「『やってみたい！』が動き出す、デジタル表現の実験室」というコンセプトのもと、ドローンや3Dプリンター、レーザー加工機など、デジタル時代の多彩なツールを備えています。安全に最新テクノロジーへ触れられる機材に加え、子どもたちの好奇心を刺激する空間デザインを取り入れました。この教室は、本校の後援会「いずみ後援会」の温かいご協力によって実現したものです。昨年度の夏休みには、保護者の方々に向けた体験会も開催しました。
新教科「小学校情報科」の授業や「コンピュータサイエンスクラブ」の活動では、画面上で描いたデザインが立体になって出てくる様子に歓声を上げる姿や、友達と試行錯誤しながらプログラミングを楽しむ姿が見られます。アナログだけでは難しかった表現の可能性を広げ、子ども一人ひとりの未来を育む場として、これからも大切に活用していきます。






子どもたちの絆とPTAのチームワークが光った「第49回なかよし運動会」

本校の二大行事の1つ「なかよし運動会」は、今年度で第49回を迎えました。全校児童が縦割りの4チームに分かれて競い合う、歴史ある行事です。この運動会は、当日はもちろん、そこに向かうまでの異学年交流が盛んです。上級生が下級生に競技のコツを優しく教えたり、声を掛け合って練習に励んだりと、日に日に深まる子ども同士の絆が印象的です。当日は1年生から6年生までバトンをつなぐ全校代表リレーが最高潮の盛り上がりを見せます。
今年度は前日まであいにくの雨で、当日朝の校庭には一面の水たまりが……。開催も危ぶまれましたが、先生と保護者が早朝から水取りや土入れに汗を流し、無事に最高の状態でスタートを切ることができました。
「子どもたちのために」と学校とPTAがひとつになれるこの温かい風土こそ、私たちの自慢です。これからも力を合わせ、子どもたちの健やかな成長を見守っていきます。






本部

PTA本部は、「繋げていこう」を方針に掲げ、伝統を未来へ、学校・家庭・地域の心を繋ぐ活動を目指します。「学校だけに任せない、家庭だけで抱え込まない、地域も含めて育てる」を合言葉に、日本の宝である子供たちの笑顔溢れる学校を作っていきます。

学級

各学年と全体で、それぞれ活動を行います。学年では、親子で楽しむ「学年PTA行事」、加えて1,6年生は「給食試食会」の企画運営をいたします。
全体では、「合唱の会」のお手伝い等を行い、子供たちの活動をサポートしています。

学習環境サポート

各家庭から集めたベルマーク、テトラパック等を回収・集計します。得たポイントは多くの図書や学習用品と交換し、児童にも喜ばれ学びに役立てられています。

校外指導

夏冬の長期休み明け・次年度第1学期始業日の登校指導と通学路の安全点検、次年度新入学児童の下校指導を行います。
また、「子ども110番の家」へのご挨拶や校外指導だよりを発行し、子供たちの登下校の安全をサポートします。

保健体育

保健体育に関する事業の企画運営を行います。上杉キャンパス清掃奉仕活動、なかよし運動会でのお手伝い、青葉消防署の方を招いて救命救急(AED)講習会の企画運営を行い、子供たちの健康と、よりよい環境作りをサポートしています。

役員選考

次年度の本部役員決定のため活動します。保護者の皆様にPTA活動や本部役員業務を知っていただき、円滑に次年度へのバトンを繋げられるよう、選考に関する広報活動にも取り組んでいます。

広報

PTA広報誌を作成しています。例年、広報誌「いずみ」、附属校園誌「四校園だより」を発行します。本校に関わる人を知り、豊かな学校生活を築くツールとして、ご家庭での話題として、楽しく親しみやすい広報誌を発行しています。

文化

司書の先生と連携して、本棚の整理、本の修復といった図書室の環境整備活動を行います。また中学校・小学校・幼稚園・特別支援学校で協力をして「四校園で楽しむ会」の企画と運営を担当します。